

第51回山梨県環境保全審議会（平成30年3月26日開催）

情報提供(1)資料

山 梨 県 レ ッ ド デ ー タ ブ ッ ク
の 作 成 に つ い て

み どり 自 然 課

2018山梨県レッドデータブックの概要

1 調査期間・方法

- (1) 期間 3年（平成27年度～平成29年度）
 (2) 方法 分類群毎に民間団体に委託し調査、専門家による委員会にてランク等の検討

2 対象分類群

- ① 植物、②哺乳類、③鳥類、④爬虫類、⑤両生類、⑥魚類、⑦昆虫類の7分類群
 *昆虫類については新たにガ類等を調査対象に追加

3 カテゴリー（区分及び基本概念）

絶滅	県内ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅	飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧	
絶滅危惧Ⅰ類	県内において絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
絶滅危惧ⅠB類	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
絶滅危惧Ⅱ類	県内において絶滅の危険性が増大している種
準絶滅危惧	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息・生育条件の変化によっては「絶滅危惧」 として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
要注目種 及び要注目地域個体群	近い将来絶滅危惧に移行しないか、その動向を注目する必要のある種または地域 個体群

*環境省のカテゴリーに準じて設定

4 カテゴリー別の選定種類数

カテゴリー	植物	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	合計
絶滅		2				1	4	7
野生絶滅	4							4
絶滅危惧Ⅰ類 ¹⁾							2	2
絶滅危惧ⅠA類	135		3		1		17	156
絶滅危惧ⅠB類	166	3	9				20	198
絶滅危惧Ⅱ類	88	5	10	2	1	2	36	144
準絶滅危惧	34	6	19		2		34	95
情報不足	42	6	18	2	1	5	17	91
合計	469	22	59	4	5	8	130	697
絶滅のおそれのある 地域個体群						4	1	5
要注目種		11			1	1	4	17
要注目地域個体群							4	4

1) チョウ目ガ類のみ該当する。

5 結果概要

調査が進み、新たな確認種や調査分類群（ガ類等）が追加されたこと、生息・生育状況が明らかになったことなどから、2005年レッドデータブックと比べ次のとおりとなった。

- (1) レッドデータブック選定種数
 95種増の723種となった。

(2) 絶滅種について

県内でこの数十年確認されていない4種が新たに絶滅と判定され、1種が再発見されたため、3種増の11種となった。

絶滅植物：サルメンエビネ

絶滅動物：ヒョウモンモドキ、オオウラギンヒョウモン、フサヒゲルリカミキリ

再発見種（植物）：マツバラ

(3) 絶滅危惧種（ⅠA、ⅠB類、Ⅱ類）について

- 新たな調査対象分類群（ガ類等の22種）が追加されたこと、新たに絶滅危惧種と判定された種がある一方、外れた種もあり、86種増加の500種（植物389種（+22種）、動物111種（+64種））となった。

- 2005年以降に県内で新たに22種が確認された。

（絶滅危惧ⅠA類 9種）

植物（5種）：コタニワタリ、ホソバショリマ、イナツルデンダ、クモラン、マツバニンジン

動物（4種）：アカイシサンショウウオ、カワラハンミョウ、クロゲンゴロウ、アカハネバツタ

（絶滅危惧ⅠB類 13種）

植物（9種）：オクタマシダ、ヒメサジラン、マメヅタラン、ベニシュスラン、オオバナオオヤマサギソウ、アカンスゲ、ミチノクフクジュソウ、ミヤマモミジイチゴ、ゴマノハグサ

動物（4種）：チチブコウモリ、オオルリハムシ、コガタガムシ、マダラヤンマ

- 在来種数に対する絶滅危惧種の割合は、在来種数の不明な昆虫類を除き0.2%増の16.9%となった。

新たな野生絶滅・絶滅種

- ・サルメンエビネ(植物)
(最終記録 1988.6.23)
- ・ヒョウモンモドキ(昆虫類 フヨウ目フヨウ類)
(最終記録 1990年代後半)
- ・オウラキンヒョウモン(昆虫類 フヨウ目フヨウ類)
(最終記録 1984.7.10)
- ・フサヒゲルリカミキリ(昆虫類 コウチュウ目)
(最終記録 1952年)

絶滅したと思われていたが再発見された種

- ・マツバラ(植物)
野生絶滅→絶滅危惧ⅠA類



1種

絶滅危惧種から外れた種

- ・ハカタシダ(植物)
絶滅危惧Ⅱ類→準絶滅危惧
 - ・テングコウモリ(哺乳類)
絶滅危惧Ⅱ類→準絶滅危惧
- など34種

調査対象科目が増え絶滅危惧種となった種

- ・ベニモンマダラ本土亜種(昆虫類 フヨウ目ガ類)
絶滅危惧Ⅱ類



- ・オオヒラタツクリゴミムシ(昆虫類 コウチュウ目)
絶滅危惧ⅠA類



- ・フジガバチ(昆虫類 ハチ目)
絶滅危惧Ⅱ類



など22種

2005年以降新たに県内での生育・生息が確認された種

- ・マツバニンジン(植物)
絶滅危惧ⅠA類



- ・アカハネバッタ(昆虫類 バッタ目)
絶滅危惧ⅠA類



- ・チチブコウモリ(哺乳類)
絶滅危惧ⅠB類
- ・アカイシサンショウウオ(両生類)
絶滅危惧ⅠA類
- ・カワラハンミョウ(昆虫類 コウチュウ目)
絶滅危惧ⅠA類
- ・マダラヤンマ(昆虫類 トンボ目)
絶滅危惧ⅠB類

など22種

絶滅危惧種以外から絶滅危惧種へランクアップした種

- ・ミヤマハナワラビ(植物)
情報不足→絶滅危惧ⅠA類



- ・ヤマコウモリ(哺乳類)
準絶滅危惧→絶滅危惧Ⅱ類



- ・オオヨシゴイ(鳥類)
情報不足→絶滅危惧ⅠB類
- ・タカネキマダラセセリ(昆虫類 フヨウ目フヨウ類)
要注目種→絶滅危惧ⅠA類
- ・オニホソコバネカミキリ(昆虫類 コウチュウ目)
情報不足→絶滅危惧ⅠA類
- ・モートンイトトンボ(昆虫類 トンボ目)
未掲載→絶滅危惧ⅠB

など75種